熊本地域公共交通網形成計画前期事業実施状況

参考資料1

弓削乗合タクシーの概要（H29.5）

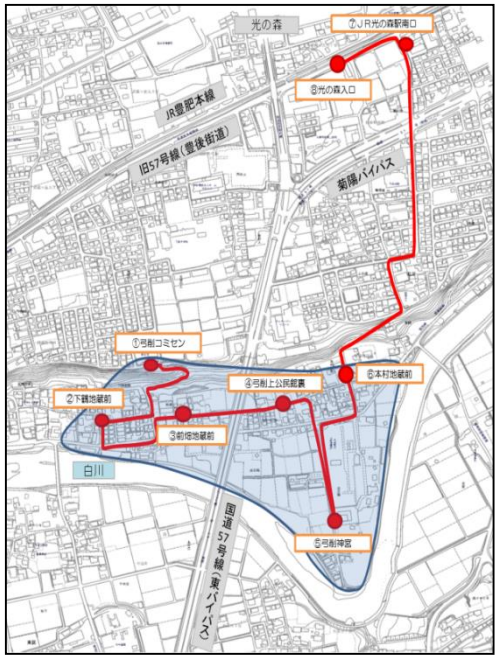
地域概要
- 地域　熊本市北区龍田町弓削の一部（弓削第１町内）
- 該当世帯数及び人口　約２００世帯、約４６０人
- 国道５７号線（通称東バイパス）熊本ＩＣを北進、白川に架かる「弓削大橋」の下に位置。

導入に至った経緯

平成２７年９月末	九州産交バス「子飼橋・菊陽台病院線」線廃止
平成２８年３月	地域から公共交通の手段について相談、不便地域の制度説明
平成２８年１１月	弓削第１町内コミュニティ交通運行協議会設立
平成２８年１２月	公共交通協議会コミュニティ交通部会にて公共交通準不便地域指定の協議
平成２９年２月	弓削公共交通準不便地域指定（市長決裁）
平成２９年２月	熊本市地域公共交通会議にて、運行について関係者協議
平成２９年４月	弓削乗合タクシー路線認可
平成２９年５月１日	地域主体のコミュニティ交通として「弓削乗合タクシー」運行開始

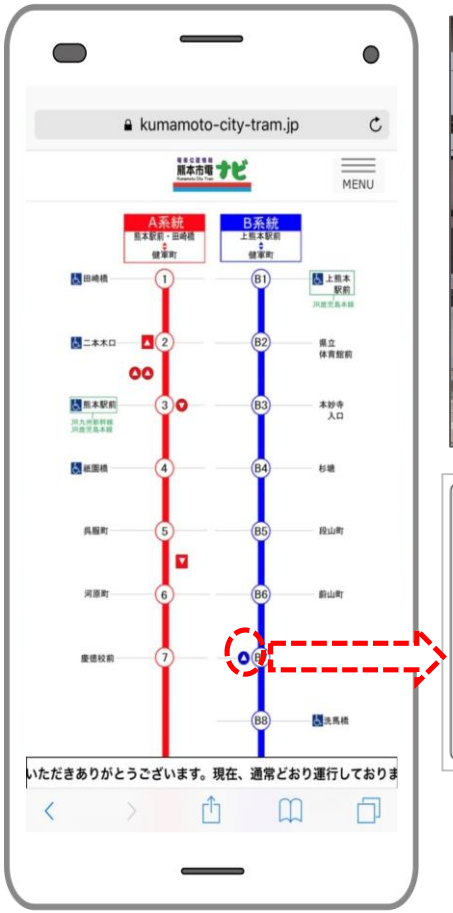
路線・ルート名		弓削乗合タクシー
1　運行主体		弓削第一町内コミュニティ交通運行協議会
2　運行態様		区域運行
3　営業区域	熊本市	北区龍田町弓削
4　運行系統又は運送の区間	起点	①弓削コミセン
	経由地	②下鶴地蔵前（シモツル ジゾウ マエ） ③前畑地蔵前（マエハタ ジゾウ マエ） ④弓削上公民館裏（ユゲ カミ コウミンカン ウラ） ⑤弓削神宮（ユゲ ジングウ） ⑥本村地蔵前（ホンムラ ジゾウ マエ） ⑦ＪＲ光の森駅南口（ヒカリ モリ エキ ミナミグチ）
	終点	⑧光の森入口
5　運行開始予定日		平成29年5月1日
6　運行日		毎日（予約時のみ運行） （12/29～1/3除く）
7　運行回数		往路・復路各４便（計８便）／日
8　運賃（料金）の種類、額及び適用方法		均一料金　１人１乗車３００円 ※小学生は保護者同乗時１人１乗車１００円 ※未就学児は保護者同乗時無料
9　予約方法		電話予約
１０　運行距離（運賃目安）		2.9km（1,060円）13分
１１　運行車両		セダン型
１２　運行予定事業者		株式会社　菊陽タクシー

運行路線図



市電ロケーションシステム「熊本市電ナビ」の導入（H28～29年度実施）

スマートフォン画面のイメージ
（4ヶ国語対応）



電停案内モニター
（4ヶ国語対応）

系統、車両タイプ毎にアイコンの色、矢印の形状を変えて、色の区別が困難な方に配慮。

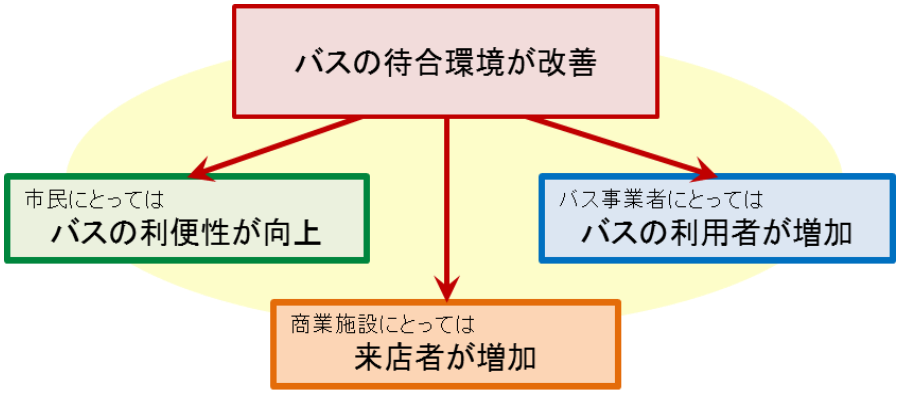
熊本地域公共交通網形成計画前期事業実施状況

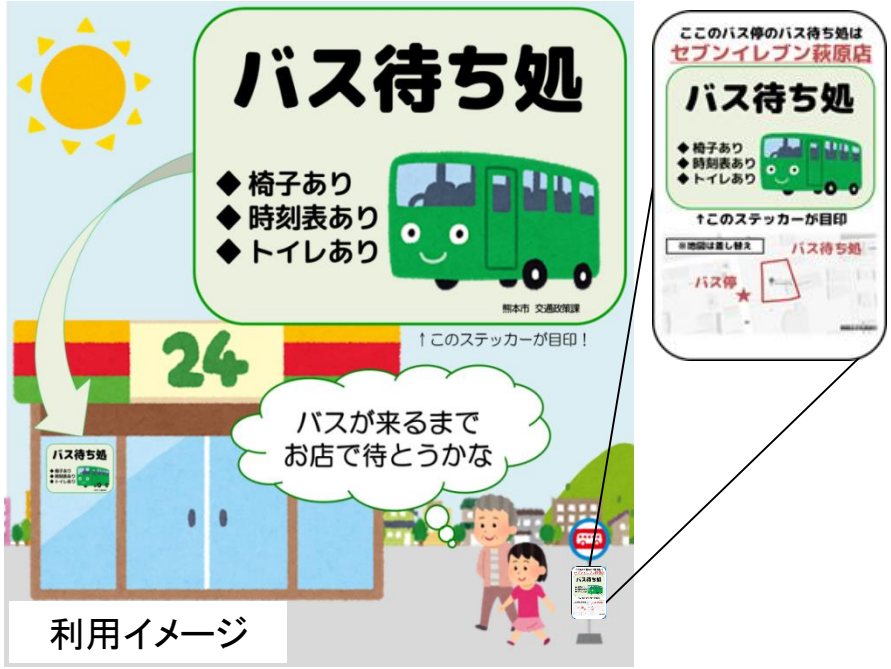
河原町電停改良（H30.5）

バス待ち処（H30.10）

● **「バス待ち処」とは**

市内のバス停と近接するスーパーマーケット、コンビニストアと連携し、イートインスペースの活用や時刻表の掲示などにより、バスを快適に待つための環境整備を行うもの。





利用イメージ

熊本地域公共交通網形成計画前期事業実施状況

バスロケーションシステム（R1.4）、新案内番号の導入（R1.9）

●<u>バスロケーションシステム導入（4月）</u>
熊本県下の路線バス879台に導入

▲スマートフォン画面

桜町バスターミナル	西部車庫
熊本駅前	小島産交
市役所前	植木
通町筋	本渡バスセンター
水道町	さんぱーる
藤崎宮前	八代産交
交通局前	阿蘇駅前
味噌天神	河内農協前
水前寺公園前	
熊本県庁前	

▲モニター画面、設置個所

●<u>新案内番号の導入（9月）</u>
ターミナル開業に合わせて、英数化

（旧）

（新）

▲ 案内番号の変更例

メインターミナルの整備（R1.9）

2019年9月14日
SAKURA MACHI Kumamotoグランドオープン！

2019年9月14日
日本初！熊本県内バス・電車無料の日を併せて実施！

熊本地域公共交通網形成計画前期事業実施状況

バス路線の再編（R元.10）

● 植木・北部方面及び小島・城山方面の再編
利用状況に応じた幹線・支線化や運行の効率化などの再編を10月1日に実施

再編の概要

・植木 北部方面
植木バス停で幹線・支線化を実施
山鹿線…直通運行を維持
玉名線…朝は桜町行き、午後は玉名行きを中心に直通を残し、その他は、植木にて幹線・支線化
南関線…植木で幹線・支線化
植木線…増便
（植木⇔桜町間で需要に応じた便数を維持）

・小島 城山方面
天水支所～河内温泉センター間で幹線・支線化
玉名駅 ⇔ 河内温泉センター
桜町　⇔ 小天温泉・天水支所

乗換改善などの取組

① 乗換地点の環境について
・上屋・ベンチ等の整備、バスロケモニター設置

上屋（既存）
衝立（新設）
モニター（新設）

▲ 植木バス停

上屋（新設）
ベンチ（新設）
モニター（新設）

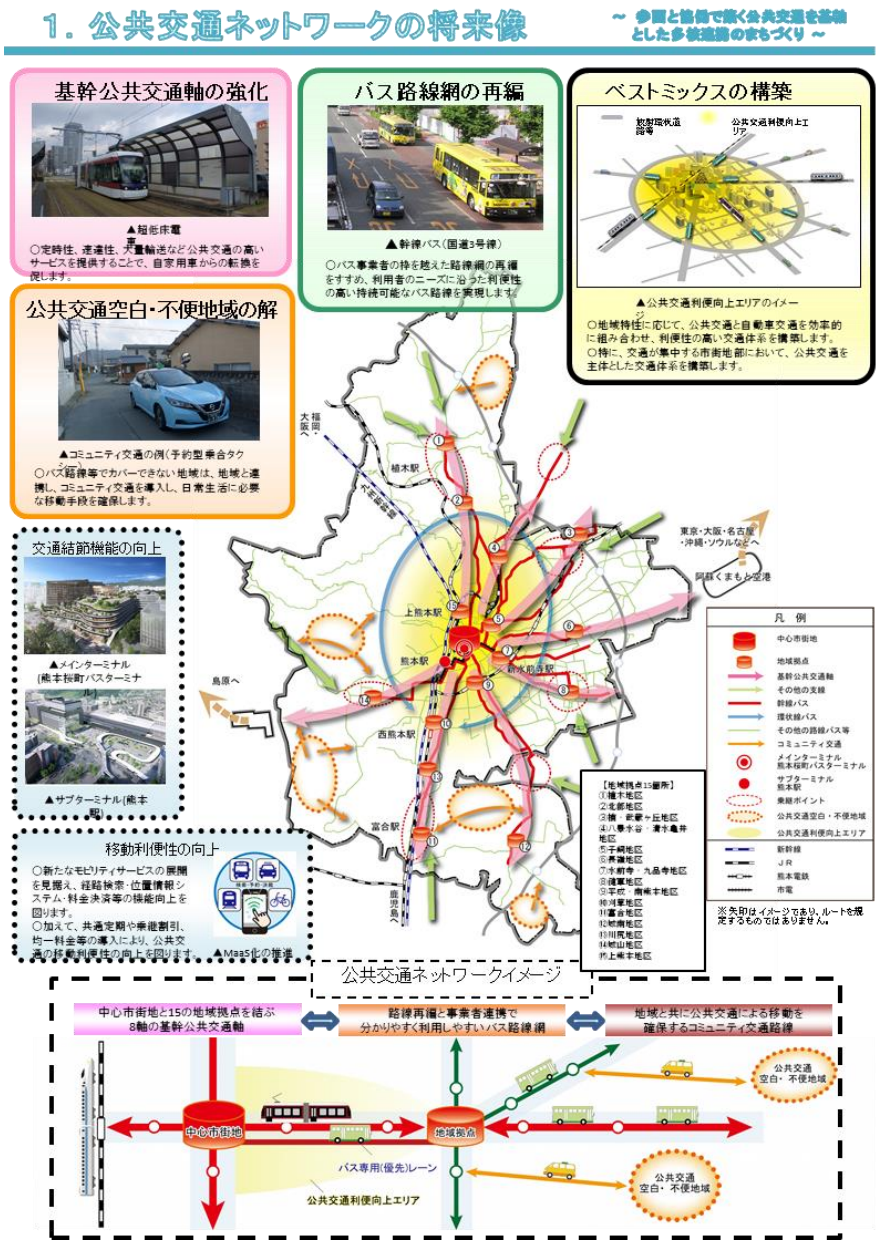
▲ 河内農協前バス停

② 運賃について
・乗換による運賃負担増をくまモンICカードのポイントにて、還元

再編の効果

・区間短縮による定時性の向上　・運行効率化による乗務員の確保

グランドデザインの改訂（R元年度）



熊本地域公共交通網形成計画前期事業実施状況

バス事業者5社の共同経営（R2年）

●バス事業者5社が共同経営に合意

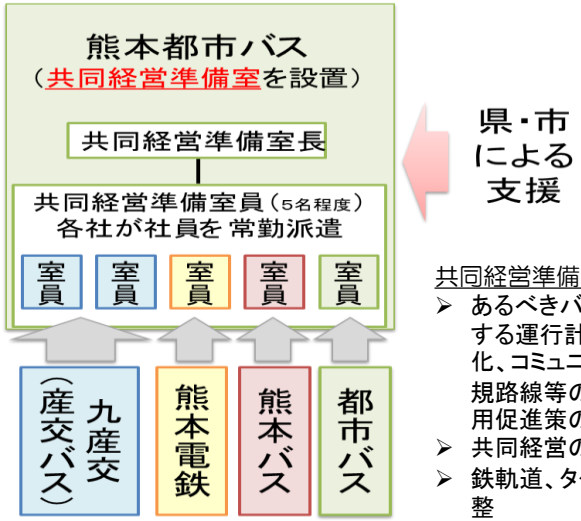
令和2年1月、複数社が乗り入れる重複路線の解消や路線の譲渡などで経営効率化を図る「共同経営型」の運行計画を策定することに合意

共同経営型のメリット（既存の事業形態との違い）

- 事業者同士でサービス内容（ダイヤ・路線・運賃等）を調整し、あるべきバス路線網の実現に資する運行計画案を作成することが可能。
- 事業者間で利害が対立するような路線については、運賃プール制による利害の調整が可能。

●共同経営準備室設置

令和2年４月、熊本都市バス内に共同経営準備室を設置



共同経営準備室の基本的な役割

- あるべきバス路線網（全体最適化）の実現に資する運行計画案の作成（重複区間等の最適化、コミュニティ交通等と連携したNW維持、新規路線等の拡充、バスレーンを伴う階層化、利用促進策の拡充、経営資源の最適配置、等）
- 共同経営の認可に関する事務
- 鉄軌道、タクシー事業者、自治体等との連絡調整

バスの走行環境の改善（県道熊本浜線）

改良前

改良後